

(H 2 3 年度 東海連合支部行事)

「石間先生を囲む会」「講演会」報告

H23 年度東海連合支部講演会・総会・懇親会の前日の 11 月 19 日 (土) 18 時から、翌日ご講演を頂く群馬大学工学部教授の石間先生をお招きして「先生を囲む会」を名古屋駅前の居酒屋「嘉文」で開催した。

先生の研究室のご卒業で、先生が自ら声をかけて駆けつけてくれた、若手の H 1 7 M の水野信さん、H 2 2 M の芳賀健太さん、H 2 2 M の加藤千壽さんの 3 名に加えて、H 4 P の小島さんが 5 歳の息子さんを連れて参加してくれ、石川支部長 (3 9 C) の乾杯で懇談が始まった。芳賀健太さんは先生をお慕いして浜松市 (静岡連合支部) から駆けつけてくれた。

他の出席者は森下 (4 3 C)、清水 (4 9 C)、吉平 (5 0 C)、三浦 (3 9 W) でお子さんを入れて 1 1 名の参加であった。

石間先生は慶応大学大学院を出られて群馬大学大学院工学研究科・工学部システム工学科の教授をされており、新進気鋭の先生として全国組織でのご活躍や、特に桐生市や群馬県の地元企業の指導などで評判の高い先生であり、即戦力の学生の育成に力をいれておられます。

先生から自己紹介や、桐生の現状紹介、学生指導の方針や産官学連携を意識して取り組まれている実際の研究内容、さらには参加された若手卒業生との思い出話や、人間としての生き方など話題は多岐にわたり、楽しい懇談の場となった。

20 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳代にまたがる幅広い人材が、嘗て桐生の母校で過ごした懐かしい話、卒業後の生き様、技術だけに留まらない企業人としての生き方など、若手にとっても有意義な懇談の場となった。

懇談内容は全体で話し合う話題や、先生と卒業生の対話、先輩と若手卒業生の対話や、いくつかのグループでの討議など、内容多岐にわたり、「嘉文」の最後の客となるくらい盛り上がった。

全体の内容は把握できないので、また翌日の講演会での話題と重なる部分もあるため、「先生を囲む会」での先生のお話の内容は下記の講演会の内容で替えたい。



<11月20日(日)講演会概要>

- 自己紹介
- 群馬大学の今後の組織(まだ、オープン前)
- 100周年に向けての努力
- 生協建屋に関する話題
- 「桐生市行事」となった母校の桜や校内を開放した「しだれ桜を見る会」の紹介
- 最近の話題
 - 地域一体活動 桐生市、中小企業との協同研究
 - 図書館に関する話題
 - 高大産連携のエリート育成プログラム さらに海外との交流
 - 広域首都圏防災研究に関して
 - 次世代EVに関して
 - フィブロボイオプロセス研究会について
 - 「リーディング大学院」のコンセプト
- 先生の研究に関して
 - レーザードラップ流量計の研究、開発の講演
 - その他の計測器に関して
 - 例) 噴霧と周囲空気 噴霧速度
瞬間流量計測装置
 - その他会社で使える計器、装置の研究 など

(副支部長 三浦 39W)